

# 製品安全データシート(MSDS)

## 製造者情報

会社 山王工業株式会社  
住所 東京都新宿区高田馬場2-4-23  
担当部門 研究室 小林 勇  
TEL 03-3202-0071(代)  
FAX 03-3209-0186  
作成 平成14年 5月1日

整理番号(MSDS・No.) SH-072

製品名(化学名・商品名等)

トアボ - セイ#100(灰色)

## [物質の特定]

単一製品・混合物の区別	混合物製品		
化学物質名	CAS	含有量	備考
酸化第二鉄(赤色酸化鉄)	1309-37-1	1%~5%	労安法 MSDS基準
ミネラルスピリット	8052-41-3	20%~25%	労安法 MSDS基準

## [危険有害性の分類]

分類の名称:

- ・引火性液体、急性毒性物質

有害性:

- ・燃えやすい液体である。
- ・蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。
- ・有機溶剤中毒を起こす恐れがある。
- ・環境への影響は報告されていない。

## [応急措置]

目に入った場合:

- ・直ちに多量の水で15分以上洗眼し、まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・できるだけ速く医師の診断を受ける。

皮膚に触れた場合:

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使ってよく洗い落とす。溶剤・シンナ - は使用しない。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

吸入した場合:

- ・被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、暖かく安静にする。
- ・呼吸が不規則か止まっている場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。
- ・蒸気・ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、出来るだけ早く医療処置を受ける。

飲み込んだ場合:

- ・誤って飲み込んだ場合は、安静にして出来るだけ早く医療処置を受ける。
- ・嘔吐物は飲み込ませない。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせてはならない。

## [火災時の措置]

消火方法:

- ・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- ・下記記載の消火剤を使用する。
- ・高温にさらされる密閉容器は散水して冷却する。
- ・消火作業は風上から行う。
- ・水を消火に用いてはならない。

消火剤

- ・粉末(ドライケミカル)、炭酸ガス、泡、乾燥砂

---

### [漏出時の措置]

- ・着火した場合に備えて、適切な消火用機材を用意する。
- ・作業の際には必ず適切な保護具(手袋・保護マスク・エプロン・ゴーグル等)を着用する。
- ・漏出液を密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物・廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・衝撃・静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・乾燥砂・土・その他不燃性のものに吸収させて回収する。大量に流出した場合には、盛土で囲って流出を防止する。
- ・流出した製品が下水、排水溝、河川等に排出され、二次災害や環境への影響を起こさないように注意する。

---

### [取り扱い及び保管上の注意]

取り扱い

- ・火気、静電気、衝突火花などによる着火源の生じないように注意する。
- ・容器はその都度密栓し、換気の良い場所で取り扱う。
- ・静電気対策を行い、作業服、靴等も帯電防止型のものを用いる。
- ・室内で取り扱う場合は蒸気の発生源を密閉する設備、又は局所排気装置を設ける。
- ・吸入を防ぎ、目・粘膜・皮膚との接触を避ける。適切な保護具を着用する。
- ・静電気対策のために装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。
- ・工具は火花防止型のものを使用する。
- ・使用済みウエス・スプレ - ダスト等は廃棄するまで水に漬けておく。
- ・作業中は、帯電防止型の作業服・靴を使用する。

保管

- ・直射日光を避け、風通しのよい冷暗所に貯蔵する。耐火構造が望ましい。
- ・熱、高温物、スパ - ク、火炎を近づけない。静電気の蓄積を避ける。
- ・保管場所で使用する電気製品は防爆構造とし、器具類は接地する。

---

### [暴露防止措置]

設備対策

- ・取扱い設備は防爆型を使用する。
- ・排気装置をつけて蒸気が滞留しないようにする。
- ・液体の輸送・汲み取り・攪拌等の装置にはア - スを取る。
- ・取扱い場所の付近には、高温・着火源となるものが置かれるようにする。
- ・屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、又は局所排気装置を設置し作業者が暴露から避けられるような設備にする。
- ・タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付ける。

保護具

- 呼吸保護具 ; 有機ガス用防毒マスク、空気呼吸器等
- 保護眼鏡 ; ゴ - グル・防災面等
- 保護手袋 ; 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋
- 保護衣 ; 不浸透性作業衣、ゴム長靴、ゴム前掛け等(耐溶剤型)

---

### [物理 / 化学的性質]

- 状態 : 液体
- 色相 : 灰色
- 臭気 : 溶剤臭
- 沸点 : 148
- 蒸気圧 : 情報を有していない。
- 比重 : 1.47
- ph値 :

---

### [危険性情報]

引火点 : 43.0  
発火点 : 288 (参考値)  
爆発範囲 : 下限 1.1%  
                  上限 5.9%

**反応性・安定性**

通常条件では反応しない。  
接触により危険性のある物質  
          情報を有していない。  
燃焼による有害ガスの発生  
          CO, 低分子モノマ - 等の有毒性ガスが発生する。  
その他  
          情報を有していない。

**[有害性情報]**

化学物質名	管理濃度	ACGIH(ppm)	ACGIH(mg/m <sup>3</sup> )	IARC	LD50
酸化第二鉄			5(Fe, Fume)	3	
ミネラルスピリット		100			

組成物質に関するその他の有害性情報 :  
・現在のところ特別な有害性は報告されていない。

**[環境影響情報]**

・漏洩・廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に製品や洗浄水が、地面・川や排水溝に直接流されないように対処すること。

**[廃棄上の注意]**

・焼却処理をする場合には、珪藻土等に付着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。  
・容器・機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝等へそのまま流さない。  
・廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼して処理をする。  
・廃水処理・焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼して処理をする。  
・その他関係法令の定めるところに従う。

**[輸送上の注意]**

**共通事項**

・前記、取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。  
・容器に漏れの無いことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

**陸上輸送**

・「消防法」「労働安全衛生法」「毒劇物法」に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従う。

**海上輸送**

・船舶安全法に定めるところに従う。

**航空輸送**

・航空法に定めるところに従う。

**国連番号**

・1263

**[主な適用法令]**

**消防法**

・指定可燃物液体

**労働安全衛生法**

・危険物(引火性のもの)  
・有機溶剤中毒予防規則 第3種

**船舶安全法**

・高引火点引火性液体 - 危告示別表第5参照

特定化学物質の環境への排出の把握及び管理の改善の促進に関する法律・施行令

[PRTR物質情報]

- ・該当物質を含んでいない。

---

[引用文献]

- ・産業中毒便覧 増補版  
後藤稔 他編 医歯薬出版 1994年
- ・化審法の既存化学物質安全性点検デ - タ集 通産省基礎産業局化学品安全課 監修  
(財)化学品検査協会編 (社)日本化学物質安全・情報センタ - 発行
- ・Registry of Toxic Effects of Chemical Substance (RTECS) NIOSH(CD-ROM版)
- ・Dangerous Properties of Industrial Materials 9th Ed N.I.Sax 他編  
Van Nostrand Reinhold(CD-ROM版)
- ・取扱い注意試薬ラボガイド  
東京化成工業(株) 編 講談社
- ・The MERCK INDEX 12th Ed. Merck & Co.,inc (CD-ROM版)
- ・Handbook of Reactive Chemical Hazards 5th Ed P G Urben編 Brethrick's
- ・Handbook of Environmental Data on Organic Chemicals 2th Ed.  
Karel Verschueren Van Nostrand Reinhold(CD-ROM版)

---

[記載内容の取扱い]

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをおすすめします。

尚、記載のデ - タや評価に関してはいかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。製品の譲渡時にはMSDSを添付してください。

記載内容の問い合わせ先電話番号：03 - 3202 - 0071(代)